



音を楽しむ環境 —日本の学校の音楽教育—

経営学部 山川 法子

皆さんは、音楽は好きですか？ ポップス、ロック、ジャズ、クラシック……。街中を歩いているだけでも、店内放送や路上ライブ、宣伝カー、誰かの鼻歌などなど、いろんなジャンルのいろんな音楽が耳に入ってきます。雰囲気作りや、場面に合わせて（合っていないことも？）、あるいは注目して欲しくて流されていたり、自分の気分が良いからつい口にしたりと、生活をしていると何かしらの音楽と触れ合っていますよね。

さて、この音楽。学校の音楽の授業では、どう扱われているでしょう？ 私は、教職担当の教員なので、日本の学校における音楽教育について、少し書いてみようと思います。でも、音楽教育は専門外なので、難しいことは置いておいて。皆さんが小学生から高校生までの間に、音楽の時間はどんなことをしていたっけ？ということを出しながら、気軽に読んでもらえたらと思います。

私は皆さんと同じ大学生の頃、教員免許の取得のために、小学校へ教育実習に行きました。小学校の教員というのは、全教科の授業を担当できなければならないので、教育実習中には様々な教科の授業を経験させてもらえました。その中でも印象に残った教科が「音楽」です。音楽教師から「何でも自由にして良いよ！」と言ってもらえたので、ポップスとか聞かせちゃおうか！とも思ったのですが、自重して、あるJ-POPミュージシャンが選り抜いた楽曲が並んだクラシック・オムニバスCDを使うことにしました。子ども達も知っているバッハやチャイコフスキー、メンデルスゾーンなどの著名な作曲

家の、きっと一度は聞いたことがあるだろう作品たちが入っていました。授業の始めに「きっと聞いたことがあると思うよ。まずは聞いてみて。」と一曲を流してみました。聞き始めて少しすると、曲に乗って身体を少し揺らしていた男の子の一人が「先生、踊っても良い？」と、うずうずした様子で尋ねてきたので、「いいよー、前においで。」と手招きすると、更にもう一人が「僕も！」と、一緒に前に出てきて、ちょっとごちないものの、気持ち良さそうに全身を大きく使って表現しました。これはハプニングでしたが、この授業のねらいには、「どこかで聞いたことがある（例えば、運動会や給食の放送の時間など）クラシック曲を聞いて、親しみを感ずる」というのもあったので、しっかり楽しんでくれて、私にとっては嬉しい誤算でした。でも、ここからが大変です。高学年のクラスだったので、女の子達は冷ややかな目で二人を見ながら「ふざける……」と言いつつ出ました。

きっと、女の子達は、〈授業は、きちんと座って真面目に受けるもの〉として、身に付いているのだらうと思えた瞬間です。学校の教科の一つとしての“音楽”では、音楽に関する知識や演奏などの技術を身に付けたり、理論を知ったりするのも大切な内容です。でも、〈“音”を“楽”しむ〉ということが基本にあってこそ、だと思えます。学習指導要領という、文部科学省が定めた教科カリキュラムの基準を示したのものにも、“音楽”は「味わって聴く」「楽しさを体験して親しむ」とあり、それらを通して「豊かな情操を培う」のが目標と記されています。

私は、「いやいや！自由に踊るのも良いんだよ！」とフォローしつつ、感想を言い合うでも、じっくり耳を傾げるでも良いので、自分の好きな方法で音楽を聴くよう伝え、クラスの皆で身体を動かす時間をとったりして、クラス全体で楽しむ方へ向くように促してみました。張り詰めていた空気も、皆がそれぞれに動いていくうちに徐々に和らいで、なんとか女の子達にも笑

顔が出るようになりました。

女の子達からの言葉も意に介さず、その二人が踊り続けてくれたこと（たぶん普段から“お調子者”と思われているのだろうと推し測れました）は、〈楽しむ〉ということを途切れさせない時間・空間を作り出すことに大いに貢献してくれました。

ところで、学校の音楽室って、どんな部屋だったか覚えていますか？



学校によくある音楽室

よくある音楽室は、普通の教室のような1人1台の机と椅子があり、ピアノやオルガンなどが設置されていて、黒板は五線譜になっています。そして、作曲家達の肖像画が貼られているところは多いですね。この音楽室、近年は様変わりしているところもあるんです。音楽ホールのように天井が高く、壁も音が心地良く聞こえるような設計に。それに睨みつけているよう



音楽ホールのような音楽室
(福井市立 至民中学校)

出典：

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afildfile/2010/06/04/1294512_15.pdf

な作曲家の肖像画も無し！（ある楽器店の調査によると、音楽が嫌いな理由の2位に、音楽室が怖いというのが挙がったそうで、作曲家の肖像画を某有名フリー素材屋のイラストに貼り替えた小学校があるとか。）こんな建築は私立の学校でしょう？と、よく言われるのですが、公立学校にも増えているようですよ。音楽ホールのような見た目や音の響きだったら、“音楽”の時間が楽しくなりそうじゃありませんか？

“音楽”の授業と言えば、私は高校生の頃。芸術の選択科目で“音楽”を履修したのですが、アコースティックギターを毎回、自由に練習させてもらえました。1人1本ずつ使用できたので、こつこつ練習ができて少し演奏できるようになったのが一番の思い出です。今はもう、弦の押さえ方もすっかり忘れてしまいました……。皆さんには、“音楽”の思い出、何かありますか？